

質問の種類	質問内容	本市からの回答
事業の意義について	・復元設計図があると云われるが？	<p>名古屋城天守閣木造復元事業は、歴史時代の建築物等の遺跡に基づき、当時の規模・構造等により再現する「歴史的建造物の復元」を行うものでございます。名古屋城天守閣は、法隆寺のころから始まった日本の木造建築のひとつの到達点、究極の木造建築とも言われ、豊富な歴史資料をもとに外観の再現に留まらない史実に忠実な完全な復元を推進しております。</p> <p>名古屋城天守閣は城郭として国宝第一号であったものが、大戦中多くの市民の命とともに昭和20年5月14日に空襲で焼失してしまったものの、残された石垣には空襲による傷跡も残っており、焼失中の写真も残されている状況を踏まえ、市民の精神的支柱であり、誇りである名古屋城の天守閣を、悲しい歴史的事実を経て、昭和実測図や金城温古録等、豊富な歴史資料に基づき、戦災で焼失する前の本物の姿に復元いたします。</p> <p>つきましては、過去の天守閣と今回の木造復元の同一性について、歴史的な分断を感じさせない復元を成し遂げる事が、事業の価値を決定づける大きな要素であり、50～100年で再度「国宝」になることを目指しております。</p> <p>今後につきましては、事業の機運醸成を図りつつ、名古屋城の天守閣木造復元事業へのご理解を深めてまいりたいと考えております。</p>
	名古屋の宝になりますか？	
	<p>・名古屋の誇りである名古屋城を本来の姿に戻すこと。・観光の目玉をつくること。このどちらが主眼なんですか？私は前者こそが目的とすべきだと思います。故に、天守は外から見られれば十分で、入場などしない形で差支へないと思っております。</p>	
	<p>①石垣の重要性および現存名古屋城の評価 失礼な言葉ですが現存の城は所詮信長の城では無く家康の城。いまの城天守を耐震補強で充分ではないでしょうか？</p>	
	<p>・来場者の少なさが意外であった。市民が木造にすでに理解が出来ているのか？無関心か？ ・奈良大仏殿も法隆寺も再建物。木造再建名古屋城も経年の後、再度国宝指定されるにたる純真再建を望みます。完成時期は遅れてもやむなし。</p>	
会の運営について	年に1度この説明会に来ているが、発言者にかたより(毎回同じ人)があるのではないか。	<p>会の運営につきまして至らない点があり、申し訳ございませんでした。本説明の趣旨は、市民の皆様へ天守閣木造復元の進捗状況をお伝えし、ご理解を高めていただくものです。</p> <p>今後につきましては分かりやすい説明に努めてまいります。</p>
	①専門的で素人には理解出来ない。	
	<p>天守を木造にするという前提でやっているの、反対意見を受け入れる考えがまったくない。もう少ししんしん考えおしたらどうか？新しい天守を造っても歴史的建造物にはなりません。現在の天守を耐震補修して維持すべきだと思う。</p>	
	竹中工務店なぜ13時30分前に先にすわるのですか。ここしようお客様と座るのがれぎたくですか、お願いします。	
くだらん講演会はなんのためにやるのでしょうか。		
スケジュール	木造復元には賛成だが、スケジュールの遅れが気になる。早く2022年は無理と表明すべきではないか。	<p>木造復元の具体的なスケジュールについては、文化庁から示されている課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会にて現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
	<p>昨年度の説明会からどれだけ進んだのか、昨年5月以降、木造でエレベーターなしのまま、木造化をすすめるように見えるが、石垣問題含めスケジュール見直しの説明もないのはなぜか。</p>	<p>天守閣木造復元にかかる現状変更許可の取得に向け事業を進めてまいりましたが、平成30年7月の段階での文化庁に対する基本計画書の提出は見送り、10月の文化審議会への諮問には至ることは出来ませんでした。現在は、木造天守閣の実施設計、木材の調達、石垣調査、天守閣内における昇降についての新技術の公募準備等を実施しております。</p> <p>また、現在本市と致しましては、2019年5月の文化審議会を経て現天守閣の解体許可取得を目指すとともに、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、これまで市民の皆様へ説明してまいりました2022年12月の木造復元竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
	<p>今年5月に文化庁の許可が得られなければ、2020年末完成は断念するのか？そもそもなぜ2020年末完成なのか？千田先生は完成時期ありきのスケジュールは、そもそも無理だと言っている。名古屋が本当に価値のある文化事業と考えているなら、じっくり取り組んでほしい。</p>	<p>本事業は公募により決定した優秀提案に基づき、2022年12月までに木造天守の竣工を目指しているものでございます。</p> <p>文化庁から示されている天守台石垣の保全などの課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会にて現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
	本当に期日迄に造れるのでしょうか？	<p>木造復元の具体的なスケジュールについては、文化庁から示されている課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会にて現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
	本当に2022年に完成するのか。	
文化庁の認可がもらえない理由がわからない。いつまでも駄目では？出来ないことに*をつかうのであればまずい。	<p>文化庁からは、現状変更許可申請提出にあたっての留意事項を示していただきました。文化庁から示されている課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会にて現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>	

質問の種類	質問内容	本市からの回答
	<p>市長さんの考え方に概ね賛成出来ました。完全木造復元を楽しみにしています。今の名古屋城にはみ力がありません。ただ22年完成には賛成出来ません。石垣のドラマを見たいです。十年は長いですが…。現在の天守が危険というなら、木造復元が決まっているのなら、先にこわしても良いのでは？</p>	<p>文化庁から示されている天守台石垣の保全などの課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会で現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりますと考えております。</p> <p>天守台石垣についても、天守閣木造復元後も9年かけて修復等を行うことにより、着実に後世に伝えてまいりたいと考えております。</p>
	<p>・文化庁から許可を得てからでも良いのではないかと思います。</p>	<p>文化庁から示されている課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会で現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
	<p>・始めてから考えるのではなく、決めてからでもよいのでは。</p>	<p>文化庁から示されている課題を着実に取り組むことにより、2019年5月の文化審議会で現天守閣の解体を認めていただいた上で、出来るだけ早期に木造復元の現状変更許可を得ることにより、2022年12月竣工を目指してまいりたいと考えております。</p>
<p>整備方針について</p>	<p>行政職員の本気度の確認の為、来場。内容は資料を見れば見当がつく。竹中工務店へ「おまかせ定食」ではないのか？</p>	<p>天守閣木造復元事業には様々な課題があり、工事契約に向けた仕様(工法の種類等)の確定が困難なことから、本事業においては、技術提案・交渉方式と呼ばれる「民間事業者が持つノウハウを活用する契約手法」を採用しました。優先交渉権者(相手の民間事業者)として、株式会社竹中工務店が選定されましたので、同社のノウハウを活かしながら、本事業に取り組んでおります。</p>
	<p>・5階を136人で制限すると一日2万人、平準化して一時間2500人に対応するには18回転、5階に滞在できるのは3.26分となる。これは実際の数字か？もつと回転数は小さくなり、結果入場者数は2万人に到達しないのではないのか。</p>	<p>現在、観覧計画を検討しているところです。できる限り多くの方に観覧していただくよう、運営面において工夫してまいりたいと考えております。</p>
	<p>④木造化によるトレードオンしたものは何か。どれかをギセイにする事をカクゴしなければならぬ。</p>	<p>名古屋城天守閣木造復元事業は、歴史時代の建築物等の遺跡に基づき、当時の規模・構造等により再現する「歴史的建造物の復元」を行うものでございます。名古屋城天守閣は、法隆寺のころから始まった日本の木造建築のひとつの到達点、究極の木造建築とも言われ、豊富な歴史資料をもとに外観の再現に留まらない史実に忠実な完全な復元を推進しております。木造復元事業に当たっては、天守台石垣の保存を適切に行うとともに、現天守の価値を継承できるよう努めてまいります。</p>
	<p>竹中さんは本気で防災対策のない木造を作るつもりなのですか？</p>	<p>建築基準法第3条における同法適用除外に該当する場合としては、国宝・重要文化財等の建築物の原形を再現する建築物について、特定行政庁が建築審査会の同意を得て、その再現がやむを得ないと認めたものが挙げられています。名古屋城木造天守閣についても特殊な建築物の原形を再現することから、同法の適用除外を受けることとしています。しかしながら、防災対策については、避難安全等の評定を取得し、防災的な安全性を検証された上で、復元を行ってまいります。</p>
	<p>北階段で出火した場合は北階段を区画するので5階は区画される区域に入ることになるがどのようにして避難するのか。 ・2,500人には2%(50人)の歩行困難者がいるとして、何分で避難できるように考えているか。</p>	<p>消火設備等のハード面のみでの対応だけでなく、避難誘導のためのスタッフ配置等ソフト面での対応も含め総合的に安全対策を行ってまいります。また、歩行困難者に対しては一時避難場所を設置する等、安全に避難できるように計画しております。</p>
	<p>・耐震化として考え、他県などの資料なども考慮して、考えては？</p>	<p>名古屋城天守閣の整備方針については、平成27年度から平成28年度にかけてタウンミーティングや市民説明会、2万人アンケートなどを実施した上で、木造復元を行う方針としております。</p>
	<p>金額もていじしい等条件をかくしたアンケートに信頼性はないと思う。なぜ日本の法律を曲げてまで強行とばすのですか。市民の望んでいない事業をなぜ優先的に進めるのですか。</p>	
	<p>①照明はどうするか？</p>	<p>復元する天守閣に、照明を付けることは原則ありませんが、観覧動線の確保や安全のため、付加的に置き型の照明器具を設置していくことを検討しております。</p>
	<p>②石垣の修復はどんな工法か？</p>	<p>現在、石垣の現状確認を行っております。その状態に応じて、どのように保存していくかを検討してまいりますので、どのような工法で修復するか、現時点では決まっております。</p>
	<p>④現代の工法の方がいい場合は完全修復はどうするか？</p>	<p>史跡等における歴史的建造物の復元に関する基準として、原則として、復元に用いる材料・工法は同時代のものを踏襲し、かつ当該史跡等の所在する地方の特性等を反映していることが示されており、それに基づいて天守閣を木造復元することから、同時代の工法を用いてまいりますが、耐震補強などにより、現代工法を用いる部分もあります。</p>
<p>②現状のままだと耐震強度が問題だから補強工事に対応し、石垣、エレベーターを数年かけて検討し、20年、30年先に木造復元を実現すればよいのではないのか？</p>	<p>名古屋城天守閣の整備方針については、平成27年度から平成28年度にかけてタウンミーティングや市民説明会、2万人アンケートなどを実施し、さらに議会にも認めていただいた上で、木造復元を行う方針としております。</p> <p>石垣については、十分な調査研究を行い、適切に保全を進めてまいります。木造復元天守閣の昇降については、史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をしてまいります。平成31年度においては、昇降に関する新技術を国際公募する事業を行ってまいります。引き続き、バリアフリーについては当事者の皆様の意見を広く伺ってまいりたいと考えております。</p>	

質問の種類	質問内容	本市からの回答
	<p>賛成早くやれ！館内はスリッパに履きかえるのか土足なのか？</p> <p>①清須城 スリッパ げた箱あり</p> <p>②岡崎城 土足</p> <p>①復元の費用は寄付で行われている。</p> <p>②復元後、名城の収益で行なれる。</p> <p>上2件を主張して下さい。</p>	スリッパに履き替えるかどうかなどの木造天守閣の観覧計画については、他城郭を参考にしながら検討してまいります。
その他	・岩手県の奥州神社から月山松を持ってきている件、とても興味をそられました。月山といえば、月山鍛冶、熱田神宮とのつながりが思われます。そういえば名古屋城天守閣では例年春頃に日刀保の方々が刀剣を展示して下さっていたかと思えます。天守閣が閉じているあいだは、こうした展示はないのでしょうか？	名古屋城は名古屋の文化・観光の中核であり、その価値や魅力を十分に活かした企画・イベントを開催し、本市の文化・観光を発信していく必要があると認識しております。今後につきましては、幅広い皆様のご意見を耳を傾けながら名古屋城における催事について検討してまいります。
	・2023年に名古屋城の写真をたくさん後世に残して下さった徳川義勝を主人公にした大河ドラマ「葵の残葉」が放送されたらなんと切望しているのですが、そのような計画はありますか？	現時点でそういった計画はございません。
	多門櫓の部分の木は伐採しないのか。	多門櫓の整備については、特別史跡名古屋城跡保存活用計画において、今後特別史跡にふさわしい整備を検討するものとしており、クロマツ等樹木の扱いにつきましても、多門櫓の整備の検討の中で検討してまいります。
	③最上階へ簡単に行ける方法は？	基本的には、階段を昇降していただくこととなります。なお、木造天守閣の昇降については、史実に忠実に復元するためエレベーターを設置しないことといたしました。新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をしてまいります。平成31年度においては、昇降に関する新技術を国際公募する事業を行ってまいります。引き続き、バリアフリーについては当事者の皆様の意見を広く伺ってまいりたいと考えております。
	木造復元より現状の名古屋城の改修・修復石垣の保全。だれもが入れるお城→エレベーターが要。内装は木目調で歴史を守るかとも思う。現名古屋城で博物館機能を大切に新たに史跡館を建設して木造天守閣の階層部分をモデルルーム化して創作。CG、AI、ロボット等楽しめる仮想現実の史跡館を造つたらどうか？	名古屋城天守閣の整備方針については、平成27年度から平成28年度にかけてタウンミーティングや市民説明会、2万人アンケートなどを実施した上で、木造復元を行う方針としております。また、博物館機能については現在西之丸で整備を進めている展示収蔵施設や金シャテ横丁の第二期整備の中で検討してまいります。
	一つの疑問があります。従来名古屋市は“名古屋城天守閣”と呼んでいます。何故“天守閣”と閣の字を付けるのでしょうか？城郭の一施設である中心建築物である天守は軍事施設です。歴史的建築物である天守は本来櫓の発展したものです。使用されていた江戸期には天守を天守閣とは呼んでいませんし、記述もありません。“天守閣”と呼ぶようになったのは明治以降と思われ、このような呼び方はふさわしくありません。またこの頃は新聞も“天守閣”の記述をやめ、天守と記述しています。史実に忠実に復元をされるのであれば城郭の呼び方も是非史実に忠実に呼んでいただきたいと思えます。ご検討願います。名古屋城は大天守、小天守です。統一した呼び方をして下さい。	現時点では、最も広く使われている名称として「天守閣」という言葉を使っております。木造復元されると、より史実に忠実なものとなりますので、呼び方についても、今後検討する必要があることは認識しております。
	なぜ様々な書類を黒めりにして公開しないのですか。	情報公開につきましては、名古屋市情報公開条例に基づき処理しております。
バリアフリーについて	現在の国宝とされている城についてのバリアフリーの問題についての修復のとしての考えはどうか。上記の国宝の城のバリアフリーの対応はどうか。私は忠実に再建されることを希望する。	他城郭においても、出来得る範囲において、適宜バリアフリーに配慮を行っているものと捉えております。
	①本丸御殿の復元度合(建物も絵画も)であればエレベーター付きで同等ではないのか？	本丸御殿の復元事業につきましては、昭和実測図や金城温古録等の史資料に基づくとともに、専門家のご意見を踏まえて史実に忠実な復元を進めてまいりました。
	②木造復元天守閣にEV不設置の理由は？ 史実に忠実に基づく木造化→梁を通したい切断したく無い！！	木造天守閣の昇降については、史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をしてまいります。平成31年度においては、昇降に関する新技術を国際公募する事業を行うことを検討しており、公募する技術については特定の技術を排除することなく、誰もが利用できる付加設備の開発を目指してまいります。
	③ならば斜行型エレベーターではダメなのでしょうか？階段の横に角度を合わせて設置可能では？急傾斜 緩やか傾斜でも籠のような意匠デザインもありなのでは？既存の技術の延長上で実現性のコストもほぼ計算可能では？各階毎に設置するので木製梁を切断せずにまたバランス配分すれば耐震性も向上するのでは？	木造天守閣については史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をしてまいります。平成31年度においては、昇降に関する新技術を国際公募する事業を行ってまいります。引き続き、バリアフリーについては様々な方々の意見を広く伺いながら、誰もが利用できる付加設備の開発を目指してまいります。
	「平成83年」なんて書かないでほしいです。壇上、男性ばかりです。女性はいないのですか？障害者雇用で障害者の方も公務員にはいるのではないのでしょうか？女性、障害者の方も壇上にいれれば進み方もかわるのではないのでしょうか。コンクリートのお城、新名古屋城に子どものときはじめて入って「エレベーターがあった。昔の人はエレベーターののっていたのか？」と友達とすごく異和感ありと話しあったことがありました。エレベーターを作るとちょっと「変」と思えます。なしていいのかな？	木造天守閣については史実に忠実に復元するためエレベーターを設置せず、新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をしてまいります。平成31年度においては、昇降に関する新技術を国際公募する事業を行ってまいります。引き続き、バリアフリーについては様々な方々の意見を広く伺いながら、誰もが利用できる付加設備の開発を目指してまいります。
エレベーター問題について考えは？		
文化財としてのあり方について	石垣の復元にどれくらい時間がかかるのか。	天守台石垣の現在の状況について、調査分析を進めております。その結果に応じて、復元も含め、どのような対応をするのかを考えてまいります。それによって、必要な時間も変わりますので、現時点ではお答えすることができません。なお、現在の計画では、天守閣復元後も9年かけて修復する計画としております。

質問の種類	質問内容	本市からの回答
目標・運営 について	総工費はどの位になるのか。	総事業費等、事業の条件については株式会社竹中工務店と基本協定を締結し、事業を進めております。総事業費につきましては、467億1千万円(消費税及び地方消費税除く)としています。
	本物復元による経済効果を数字で説明することは必須なのではないか。持ち合わせていないではまずいと思う。	入場者数見込みや運営方法について、平成29年度に第三者機関に委託し、調査を行いました。その中で、一般の入場料を450円(市内在住者)及び1,000円(市外在住者)と想定した上で、名古屋城内における魅力的なイベントの開催などさまざまな施策を実施し、名古屋城への来訪頻度が増加した場合の想定として、木造復元天守閣竣工後(平成35年度)には年間422万人、リニア名古屋開業翌年(平成40年度)には年間351万人、リニア全線開業翌年(平成50年度)には年間362万人、その後は微減していくと推計しており、この場合、約50年間に渡る収支計画(平成83年度まで)において収入超過となると見込んでおります。
	②入場料が500円が1,000円ですかor400円ですか。	今後につきましては、当該調査を参考として木造復元天守閣竣工後における名古屋城の詳細な運営の方針の検討を進めてまいりたいと考えております。なお、第三者機関による調査結果及び総事業費に関する株式会社竹中工務店との基本協定書については、名古屋城公式ウェブサイトの次のページをご参照ください。 https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/learn/tenshu/business/
	③入場者数が150万人が350万人に増えるとは思えない。これが出来なければどうなるのか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業会にいましたので、私は理解できましたが、できれば立体モデルがあれば非常に良かったのでは？ホールに置いておけば皆さんが見ることができるのでは。 ・入場者数推計については根拠があるのでしょうか？ ・たとえば数値モデルがあるのか？超楽観的な数字ではないでしょうか？ 	